

砺波市立種田公民館

◆事業の目的

- ・ 田祭の由来を学び、親子でとっぺ行灯を製作。種田公園横に設置。
- ・ 区内を徒歩で歩き、施設、危険箇所なども確認。秋の収穫体験と、おにぎりづくり。
- ・ 稲藁で縄ない練習後、もちを編む。(こりもり編み) 雪遊びが可能ならばそり遊び。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月25,26日(金、土)	とっぺ行灯製作	種田コミュニティセンター	150名
10月21日(日)	種田あるある探検隊	種田コミュニティセンター 地区一円	56名
2月10日(日)	全員集合冬の巻	種田コミュニティセンター 体育館スロープ(そり遊び)	

◆事業の様子

☆ とっぺ行灯製作

恒例の事業となっている。今年度も5月25,26日の両日の18時よりコミュニティセンターで、地元の講師を迎え、親子でとっぺ行灯の蠟引き、色付けを行った。翌日、65本の行灯を種田公園の道路沿いに設置し、夜は灯りを入れ道行く人々にも田祭のなごりを披露した。



☆ 種田あるある探検隊

参加者を3班に分け、種田地区を歩いて廻った。

危険箇所を確認し、地区の施設(神社、農業用水路など)を見学した。道中、柿などを提供して下さる家で収穫体験(竹挟み)をした。

コミュニティセンターに戻り、コシヒカリでおにぎりをつくり、焼き芋など、秋の味覚に感謝しておいしく頂いた。

種田地区の再発見の1日でした。



◆事業の成果と課題

いろいろな生活の知恵を伝える成果はあったと思う。

日の設定が課題。日曜日となると、まずスポ少活動が優先となるようだ。なんとかならないものか？